

治療と仕事の両立支援

～社員が健康で安心して働くことが出来る環境を～



健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2018年2月14日
ティーパック株式会社
人事総務部

会社概要

商号

ティーパック株式会社 (T-PEC CORPORATION)

所在地

本社 東京都台東区上野5丁目6番10号
新宿支店 東京都渋谷区代々木2丁目2番13号 新宿TRビル
品川支店 東京都港区港南1-7-18 DBC品川東急ビル1F
名古屋支店 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目24番14号 LCビル
大阪支店 大阪府大阪市中心区瓦町2丁目6番6号 ミラータワービル
メディカルコールセンター 上野・新宿・品川・名古屋・大阪 (5拠点・208ブース)

設立年月日

1989年6月15日

代表取締役

砂原 健市

資本金

2億5,000万円

従業員数

社員 235名 (2017年8月現在)
契約社員 178名 (2017年8月現在)

事業内容

電話による健康相談ほか、医療関連サービス及びEAP関連サービス

売上高

45億8,000万円 (第29期)



健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

主な事業

24時間電話健康相談



24時間・年中無休の
健康、医療、介護、育児、
メンタルヘルス相談。

ベストホスピタルネットワークサービス



- セカンドオピニオンの提供。
- 国内有数の医療機関の
受診手配・紹介。

メンタルヘルス・カウンセリング



全国約230ヶ所でこころの専門家
によるカウンセリングを実施。



国立がん研究センター
中央病院



聖路加国際病院



榊原記念病院



がん研有明病院





厚生労働省『がん検診企業アクション』

推進パートナーとして、がん検診受診率向上を目指す国家プロジェクトに参加。

NPO法人 J.POSH『日本乳がんピンクリボン運動』

オフィシャルサポーターとして、乳がんの早期発見の大切さ等を知ってもらう為の様々な活動に参画。



公益社団法人『日本糖尿病協会』の賛助会員

世界糖尿病の脅威に対し世界的に団結するブルーサークル活動に参加。

厚生労働省

『認知症サポーターキャラバン(オレンジプラン)』

『認知症サポーターキャラバン(オレンジプラン)』事業に参画し、多くの社員が認知症サポーター養成講座を受講、『認知症サポーター』となっている。



東京都 『がん患者の治療と 仕事の両立への 優良な取組を行う 企業表彰』

優良賞を受賞



がん罹患従業員の就労支援を宣言！
ティーベック株式会社

業 種	その他のサービス
所在地	東京都千代田区
常時使用する 従業員の数	241 人
創 業	1989 年

企業の 理念方針

「社員健康宣言」として、生活習慣病、メンタルヘルス対策と並んでがん対策を明文化。さらにがん罹患した社員に対する支援として「6 つの就労支援」を明文化し、社内に周知・実践している。

特徴的な 取組

- がん罹患した従業員のニーズ把握 **体制**
がん罹患し、治療のために休暇が不足している従業員がいたことを発端に、本人に状況を確認し、どのようにしたら仕事を継続できるかについて人事部が中心となって検討した。
- 治療休暇制度の創設 **制度**
がん治療で通院する場合は、本人の申請により通常の有給休暇とは別途月2日（半日単位での取得も可能）まで治療休暇を取得することができる。本制度は就業規則にも明文化している。
- 体調に配慮した時差出勤や配置転換 **制度**
本人からの申し出により、時差出勤や負担の少ない部署への配置転換を実施することを明文化している。
- 就労相談の窓口の明確化 **体制**
治療と仕事の両立のための相談窓口を人事部門に一元化している。人事部長、人事部主任以上が相談にあたることとしている。

「健康と医療に関する問題解決」を通じて、 人々の幸せとよりよい社会づくり に貢献する。

－ T-PECの3つの使命 －



1. 【個人】 心身ともに健康な生涯づくりへの貢献

人々の心身ともに健康な生涯づくりを助け、人生のクオリティと幸福の向上に貢献する。

2. 【企業】 健康経営の増進への貢献

会社や組織で働く人の健康の改善を助け、経営のクオリティの向上に貢献する。

3. 【社会】 医療に関する社会的問題の解決への貢献

医療に関する社会的な問題の解決を助け、社会のクオリティの向上に貢献する。

日本の新しい健康インフラになる



社員への約束

- 「誠の幸福とは、心身ともに健康な生涯を送ることにある。」とティーペックは考えます。
- お客様の健康を預かるからには、
まず自らの社員が健康であるべき。
- ティーペックは社員が健康で生き生きと
働ける環境を目指します。

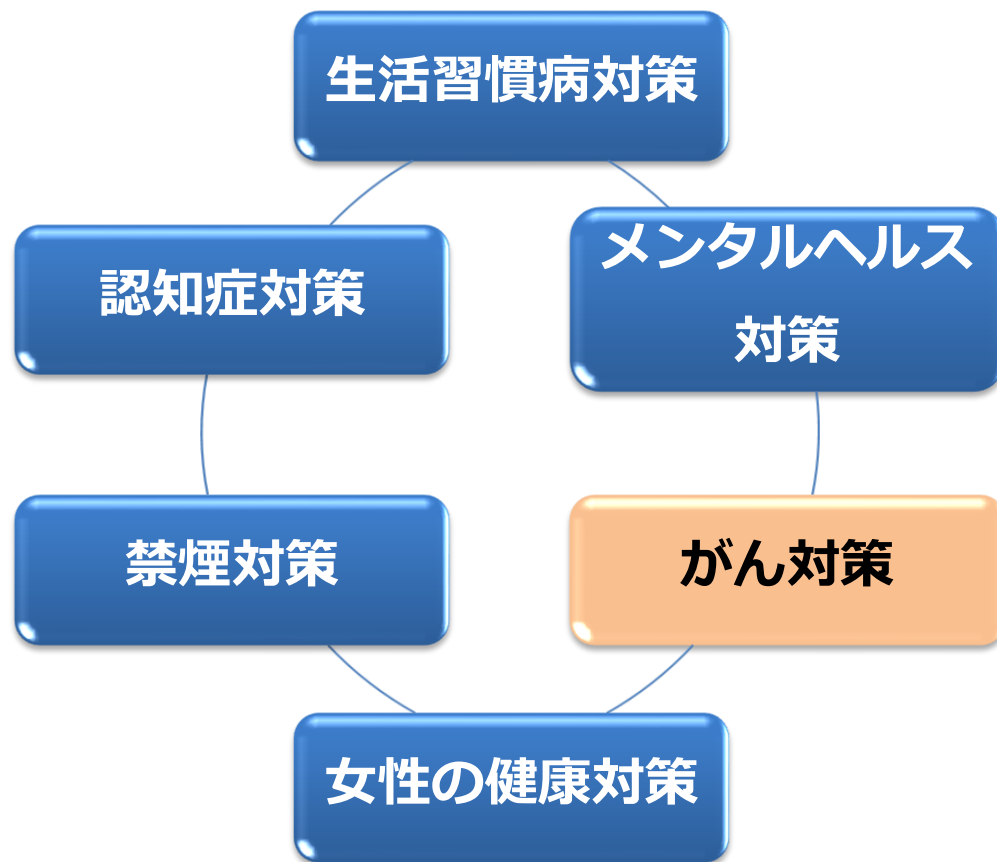


～社員が健康で安心して働くことが出来る環境を～

- 「社員健康宣言」 として明文化
- ホームページおよび社内イントラに掲載
- 全社員に向け社長より内容説明



社員健康促進制度



生活習慣病対策

- 喫煙や生活習慣により将来重篤な病気に罹患する可能性を理解してもらい、生活習慣の改善を実行してもらう。



一次予防

社員健康宣言

2013年3月

喫煙率 25%

(男性 44%)(女性 10%)



2年9ヶ月



2015年11月

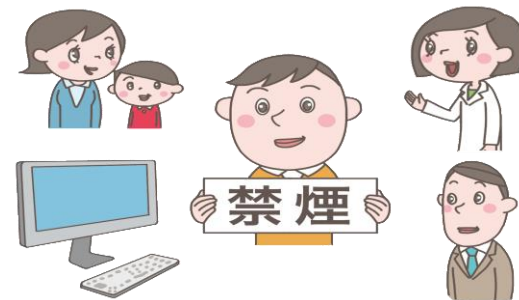
喫煙率 0%

現在も喫煙率 0%を維持

83%の社員が、集団だから達成できたと回答！

T-PEC 喫煙ゼロ運動（実施内容）

- ①社員健康宣言、社員健康促進制度制定・明文化
- ②タバコによる健康被害と生産性への影響の啓蒙（毎月）
- ③喫煙場所撤去
- ④禁煙外来利用促進（自己負担額一部補助）
- ⑤**非喫煙者にも健康促進手当を支給（毎月）**
- ⑥禁煙成功者に健康促進祝金
（6ヶ月経過後、朝礼表彰・**体験談発表**）
- ⑦全体、及び**部門毎の喫煙率の推移**を随時開示



成功の要因



- 禁煙に取り組む意義を経営トップが明確に発信。
- 組織全体の取組みが、潜在的禁煙希望者の自発的行動変容と持続性に繋がった。
- 他の社員の成功例を聞き代理体験することにより、自己効力感*が高まった。



(*自分にも「できそうだ」「やれる」という気持ち)

禁煙の成果（管理職のアンケートより）

業務効率が向上した

不公平感がなくなった

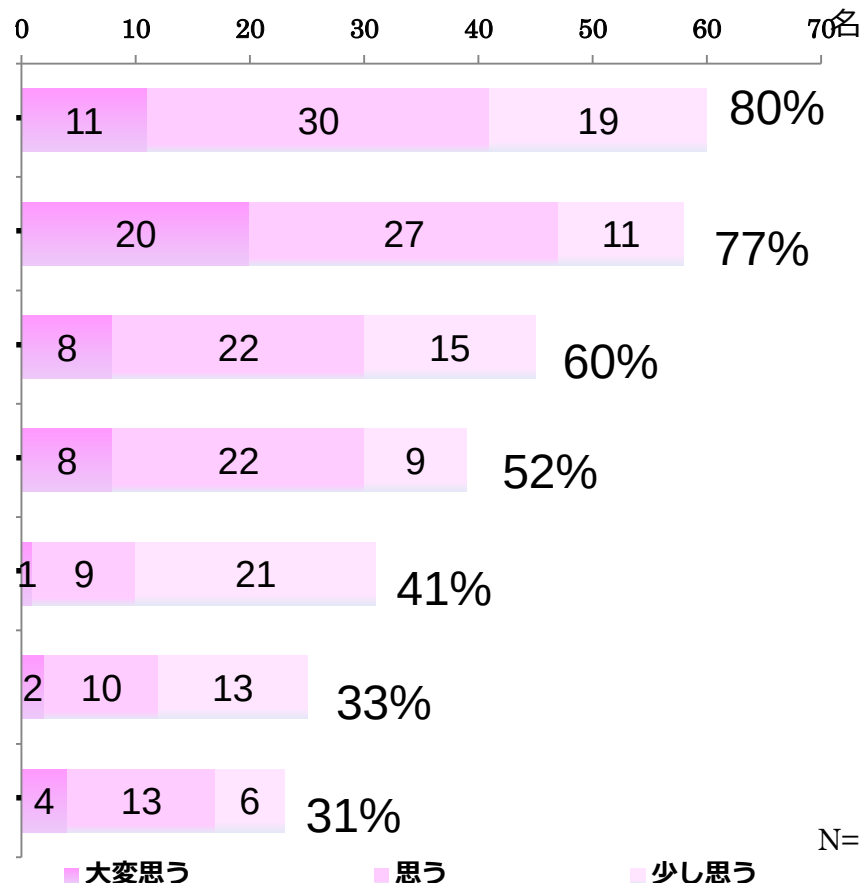
業務集中力が向上した

喫煙者宛の電話対応時間が減少した

体調不良の遅刻・早退・休暇が減少した

残業が減少した

上司・部下・同僚・他部門との報・連・相がスムーズになった



N=75

例：運動奨励策 ウォーキング

➤ 生活習慣改善のための運動奨励策

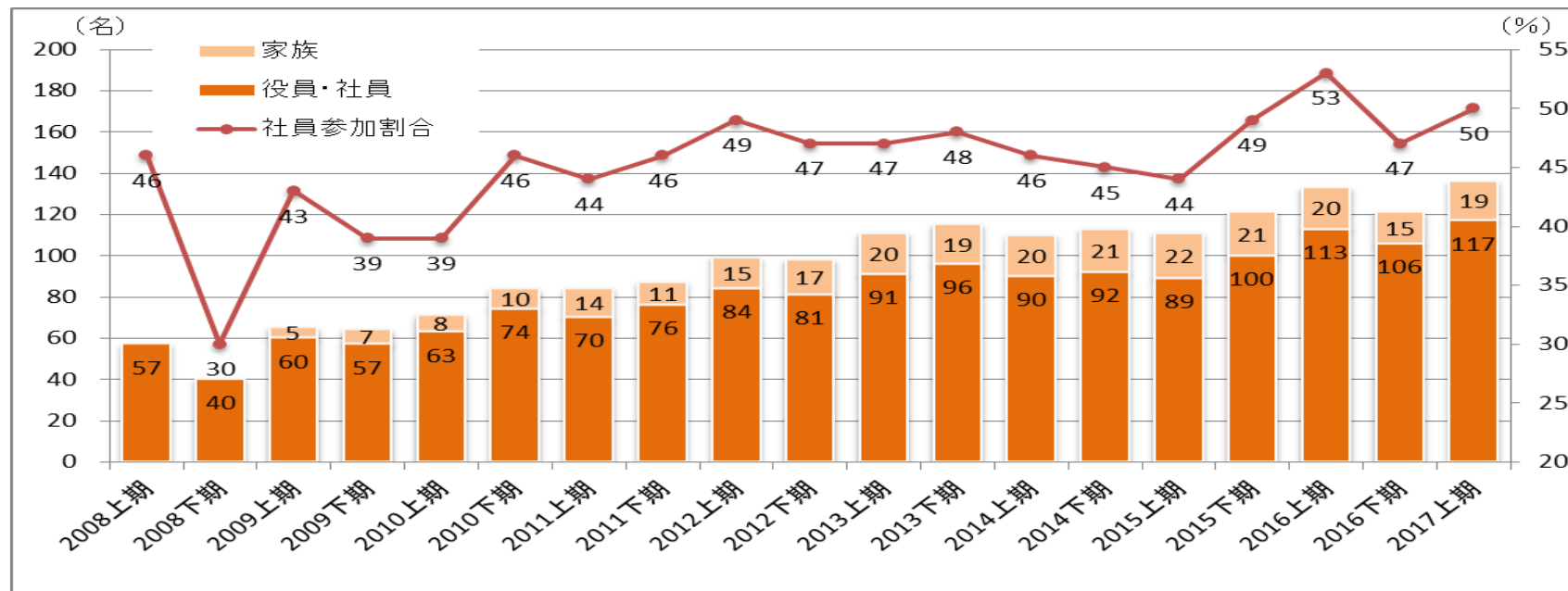
⇒歩数計を無償貸与

⇒平均歩数に応じて半期毎に図書カード贈呈

⇒10年前から実施、半数以上が参加



一次予防

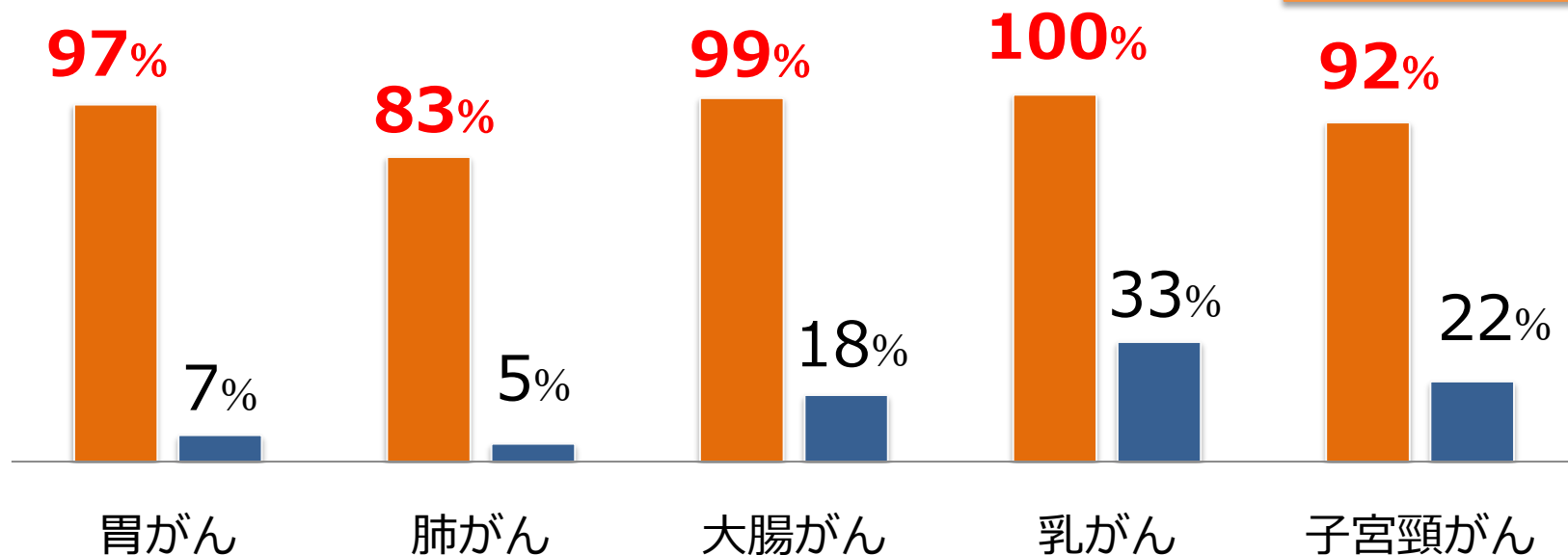


がん検診の重要性

早期発見と進行後に発見した場合の5年生存率の差

■ 早期(I) ■ 進行後(IV)

平均8.6倍



出典：全がん協部位別臨床病期別5年相対生存率（2004-2007年診断症例）より作成

Copyright©T-PEC CORPORATION All Rights Reserved.

早期発見のための対策

- 一般定期健康診断、人間ドックの受診日
⇒ 有給扱いの特別休暇
(受診を確実にするため)
- がん検診オプションは全て会社負担で実施



二次予防

- 定期健康診断・人間ドック：100%
- がん検診

	社員	被扶養者
胃がん	: 61.4%	48.6%
肺がん	: 96.7%	51.4%
大腸がん	: 73.6%	48.6%
子宮頸がん	: 78.1%	37.5%
乳がん	: 86.1%	46.9%



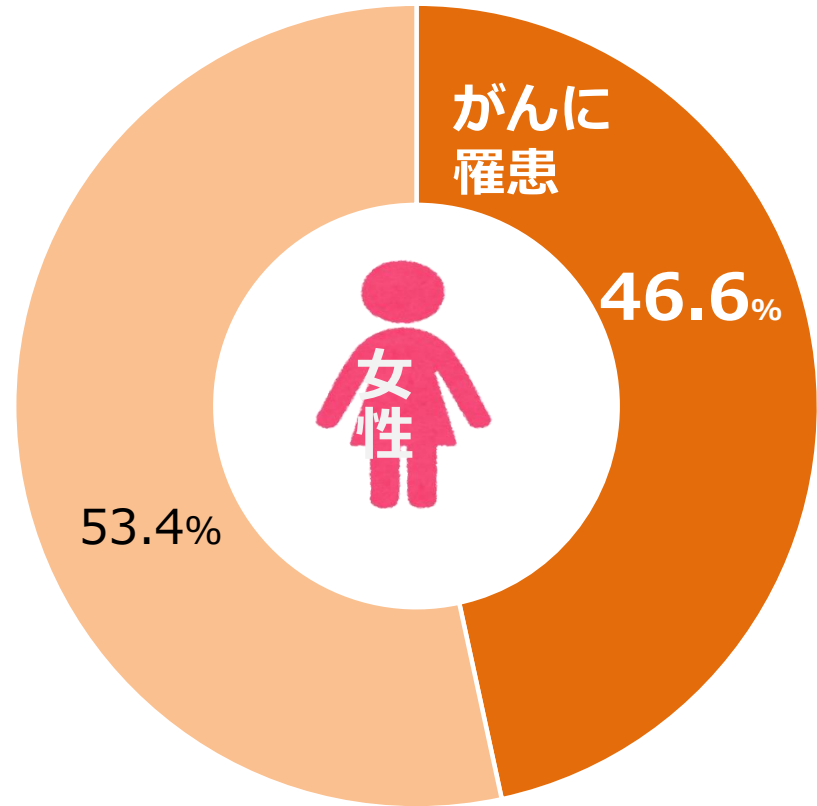
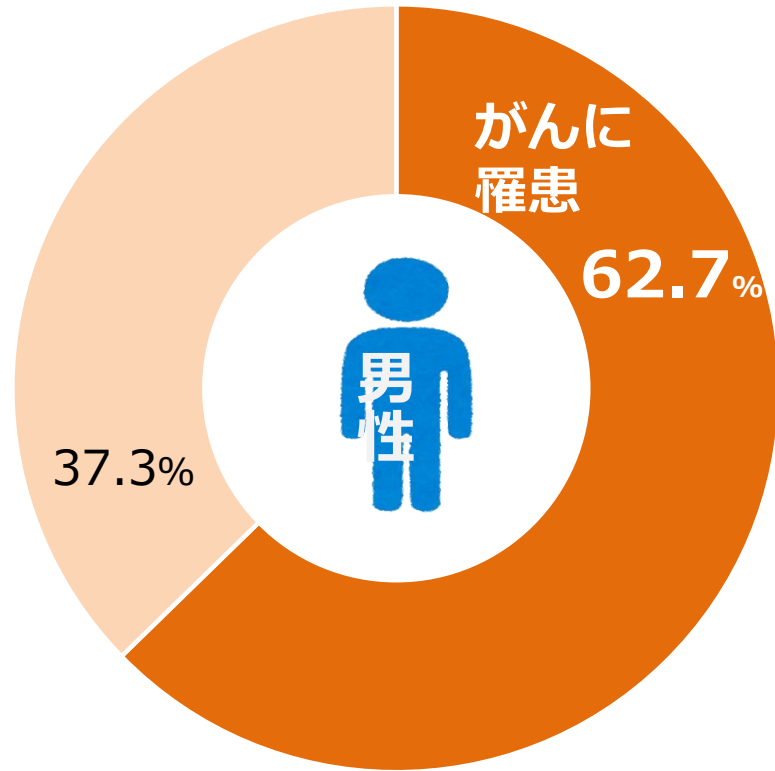
二次予防

(2016-2017健診結果に基づく)

ここからは
がんに罹患した社員の就労支援策に
絞ってお話いたします。



一生のうち、2人に1人はがんになる

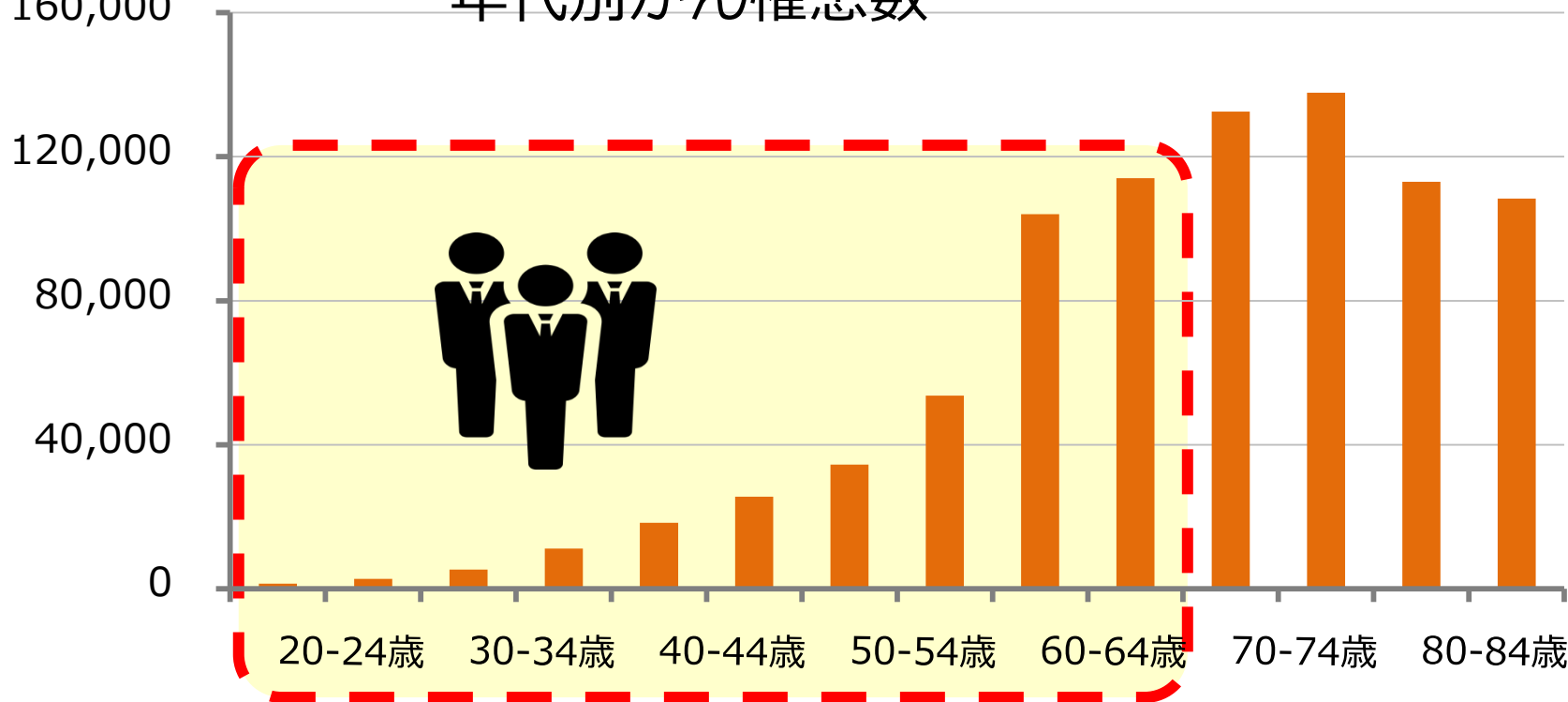


出典：公益財団法人 がん研究振興財団 「がんの統計'16」
年齢階級別罹患リスク（2012年罹患・死亡データに基づく）

がんになる人の3人に1人は働く世代

(人口10万対)
160,000

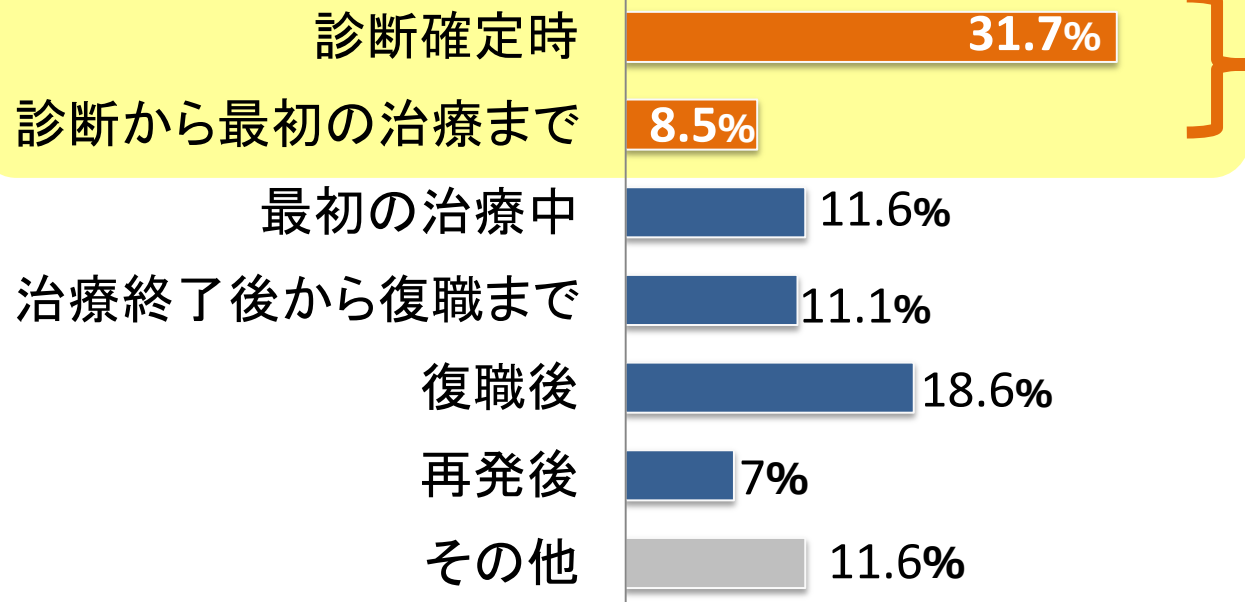
年代別がん罹患数



出典：がん情報サービス 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ（1975年～2012年）

離職者の4割が、がん治療開始前に退職

離職タイミング多施設調査



治療開始前に離職

約40%



n = 950

出典:離職タイミング多施設調査(厚労科研高橋班2015)

治療費と収入減のダブルパンチ

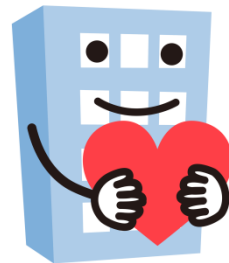
- 治療への不安
- 再発への不安
- 精神面の不安
- 金銭面の不安



安心して働いてもらうために何か出来ないか

がんへの理解を示す会社の姿勢が大切

- 会社の「がんでも辞めさせない」という方針
- 社員全体が、「がんでも働ける」ことを理解
- 社員のがんに対する知識向上
- 会社到时短などの就労制度がある



「働く」という選択ができる

- ①治療休暇制度
- ②時差出勤、職場の配置転換
- ③治療方法に関する情報提供
- ④病気の予防、早期発見、重症化予防の推進
- ⑤メンタルヘルス対策
- ⑥就労相談窓口の設置



治療休暇制度

- がん治療で通院する場合は、本人の希望により「治療休暇」の取得が可能。
- 毎月2日まで取得することができ、治療の状況に合わせ半日単位で取得することも可能。
- 特別休暇となり有給扱い。
- 正社員に加えて、嘱託社員（1年更新契約の社員。勤務はフルタイム）も利用可能。



時差出勤、職場の配置転換

本人が申し出て会社が認めた場合、

「時差出勤」と

「負担が少ない部署への異動」

を実施することができる。



治療方法に関する情報提供

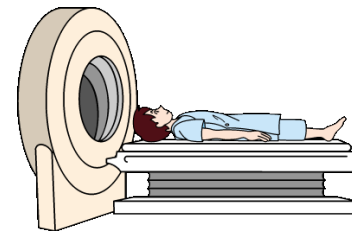
自社で運営しているサービスが利用可能

- 「24時間電話健康相談」
- 「セカンドオピニオンサービス」
- 「ベストホスピタルネットワーク
受診手配・紹介サービス」



疾病予防、早期発見、重症化予防の推進

- 法定の定期健康診断に「がん検診」を付加して実施。
- 肺がん、胃がん、大腸がんは全社員が対象。
- 乳がん、子宮頸がんは全女性社員が対象。
- がん検診の受診は任意だが、費用は全額会社負担。
- 45歳以上の社員には、5年ごとにより詳しい検査ができる肺ヘリカルCT、大腸3DCT、
女性社員向けには子宮体がん検診を会社負担で実施。

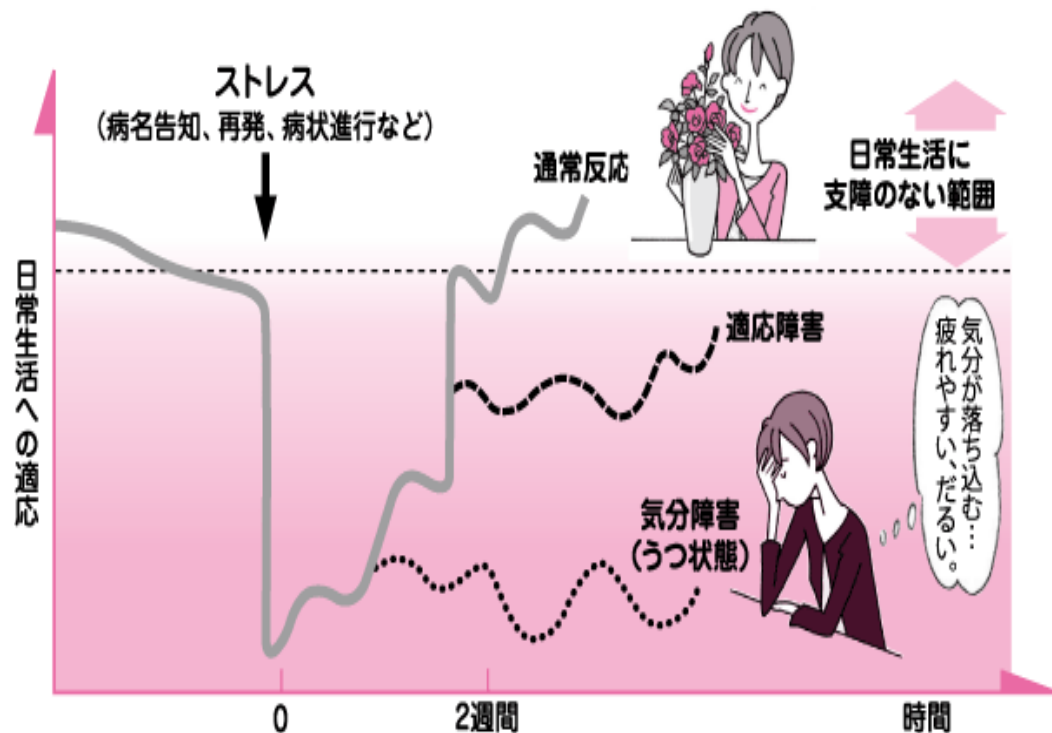


メンタルヘルス対策

がんの告知を受けた人は精神的に大きなショックを受けることが大半。

自社で運営している

「メンタル相談」（臨床心理士などによる電話相談と対面カウンセリング）の利用が可能。



がんがきっかけで、精神疾患になることも・・・

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及版」

就労相談窓口の設置

相談先を明確にするために、治療と就労の両立のための相談窓口を人事部門に一元化。

相談の対応には人事部長と人事部主任以上が当たる。



制度策定のポリシー

①離職者を出さない

②がんを正しく理解する

早期発見・早期治療により治る病気になりつつある。
5年生存率63.1%、10年生存率58.2% (国立がん研究センターより)



③長い目で考える

早期発見・早期治療により治る病気になりつつあるが、
特に1～2年は治療の頻度が高い。

④風通しの良い社内風土を醸成する

2人に1人ががんに罹る時代、誰が罹っても不思議でない。
お互い様の助け合う環境が重要。

①がんに罹患したことに伴う離職者なし

制度発足後複数名の社員が、がんに罹患しましたが離職者は一人もいません。

②同僚社員の大きな活力になった

同僚社員から、「あの人はがんを乗り越え頑張っている。尊敬する。私も頑張らなくては。」という声が多く聞かれた。結果として、全体の生産性も向上したと感じています。



以上の両立支援策を

すべての疾患に拡大する検討を進めています。

社員が安心して就労を継続できる環境を提供できるよう今後も制度を進化させていきます。



社内の実例① 上司の言葉が治療継続の支え

50代女性社員 乳がんと診断され手術、抗がん剤治療、ホルモン療法を受ける。制度を利用し両立、現在は復帰。



分かったわ。
あなた、
自分の事に集中
していいのよ。

すごい台詞
だねあ～
ありがとう

手術後の1か月半の間、
術後検査を1週間に
2回くらいの割合で受けに
行く。これがけっこう大変。
何回も通院する。
有休を使用し、半日勤務で
通院。

(イラストは本人の自筆体験記の一部。転載了承済。)

社内の実例②-1 戻る場所があるという安心感

僕は恵まれていました。

会社に、がん治療と就労の両立サポート制度が確立されており、本格治療開始前から、治療休暇を使って通院を始めることができました（限られた有給休暇を使わずに済んだ）。



また、セカンドオピニオンや治療機関選定の際、社内にいる専門家からさまざまなアドバイスや情報提供をもらうことができました。

人事担当からも、経済的に少しでもプラスになるよう、さまざまなシミュレーションをしてもらいました。

こうした『ハード面』の充実により、「がんにはなったけど、自分さえ望めば、会社は僕の雇用を最大限守ってくれるんだ」という安心感を得ることができました。

社内の実例②-2 戻る場所があるという安心感

とはいえ、結局その制度を気持ちよく使える風土があるかどうか、つまりは、『ソフト面』も大きなポイントだと今振り返れば思います。

ソフト面で、僕は勤務先の皆さんから多大なるサポートをいただくことができました。わずか1年半しか在籍していない社員が半年近くも治療で休むにもかかわらず、「待っています」「負けるな」「また一緒に仕事しましょう」と見守ってくれている。



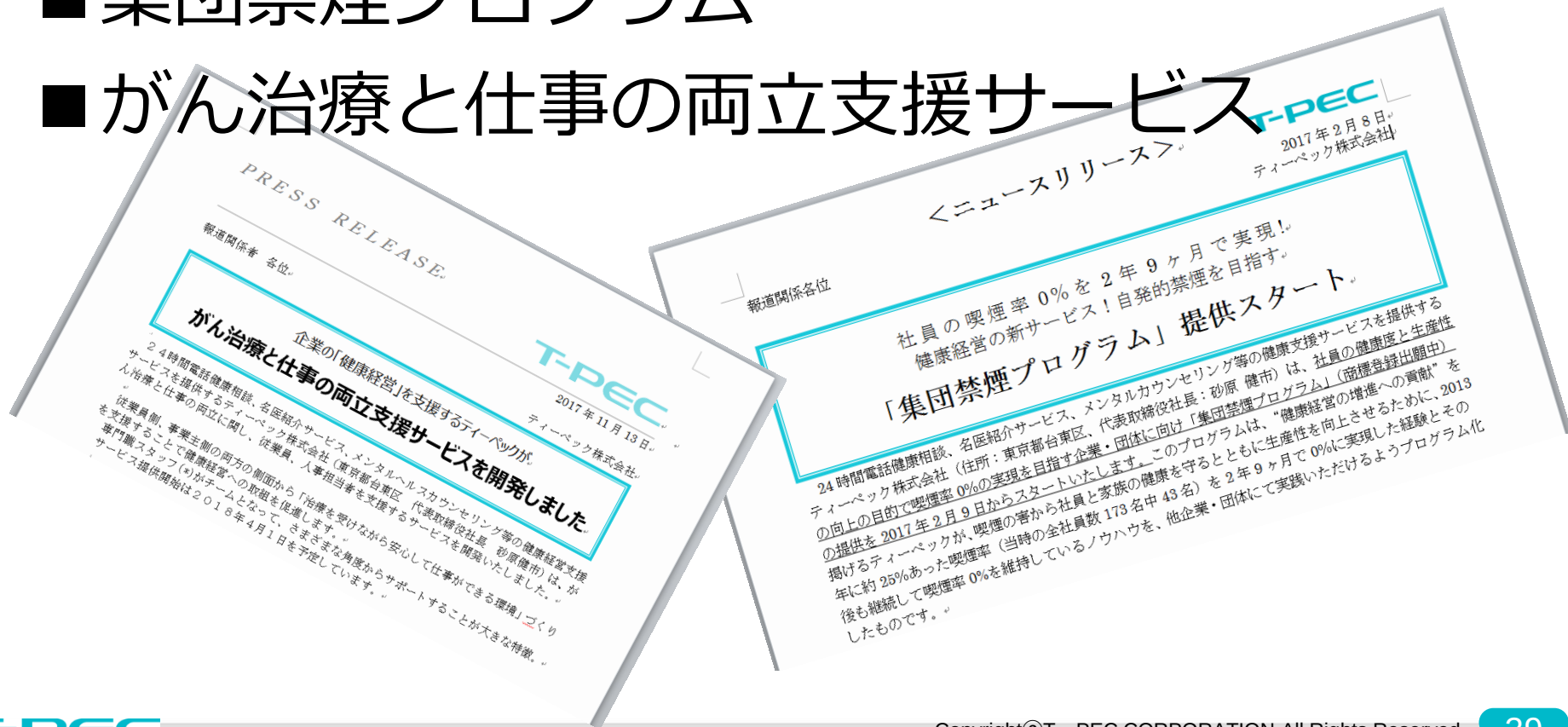
復帰後のパフォーマンスもどれだけ戻せるか分からない今、それでも「回復後に居場所がある」ということが、どれほど僕の治療に向けた精神的安心感につながっているかは計り知れません。がん治療と就労の両立、諦めずにやりきります！

(30代男性社員 咽頭がん 化学放射線療法で現在治療中 本人の了承を得てブログより抜粋転載)

自社の経験を踏まえご相談に応じています

■ 集団禁煙プログラム

■ がん治療と仕事の両立支援サービス



- ティーパックでは社員は宝です。
信頼・誠実・尊重を原則とし、
個人と会社のためになるよう持てる
才能を育成します。
- また、個人のころころざしの
実現と充実した生活を得るため、
よりよい職場環境を育みます。



ご清聴ありがとうございました。



ティーパック株式会社